

2018年2月7日

報道関係各位

浦和ロイヤルパインズホテル

埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会が実施する 「ホテルに1枚プロジェクト」に参画 個性豊かな魅力あふれるアートを身近に



作品とともに 上田清司 埼玉県知事（左）と 総支配人 小賀与敬（右）

浦和ロイヤルパインズホテル(さいたま市浦和区仲町 2-5-1 総支配人：小賀 与敬)は、2018年2月2日（金）から2020年開催の「東京2020パラリンピック」までの期間中、「埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会」が実施する「ホテルに1枚プロジェクト」に参画し、ホテル1Fロビーにおいてアート作品の展示を行います。

「ホテルに1枚プロジェクト」は、埼玉県が事務局を務める「埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会」が「東京2020パラリンピックの開催を2年後に控え、障害者の芸術文化活動をよりたくさんの方々を知っていただくため、多くの人の目に触れる機会があるホテルのロビー等に作品を展示する」（*注）活動です。

当ホテルを含む県内4ホテルと、武蔵野美術大学、障害者アーティスト、障害者施設がこの活動に連携して実施してまいります。

当ホテルで展示しているのは現在2作品。いずれも個性豊かでオリジナリティがあり、見る人の心を惹きつけるクオリティの高い作品といえます。今後作品は3月～6ヶ月ごとに入れ替わる予定です。

ぜひこの機会に素晴らしい作品の数々を間近でお楽しみください。

（*注） 2018年2月2日付 埼玉県報道発表資料より

「ホテルに1枚プロジェクト」実施要綱

■主催： 埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会

■期間： 2018年2月2日（金）～ 2020年開催の「東京2020パラリンピック」まで展示

■協力ホテル（展示会場）： 浦和ロイヤルパインズホテル、パレスホテル大宮、ホテルヘリテージ（熊谷）、別所沼会館

■当ホテル展示場所： 1Fロビー（東エスカレーター脇）

■当ホテル展示作品・作家

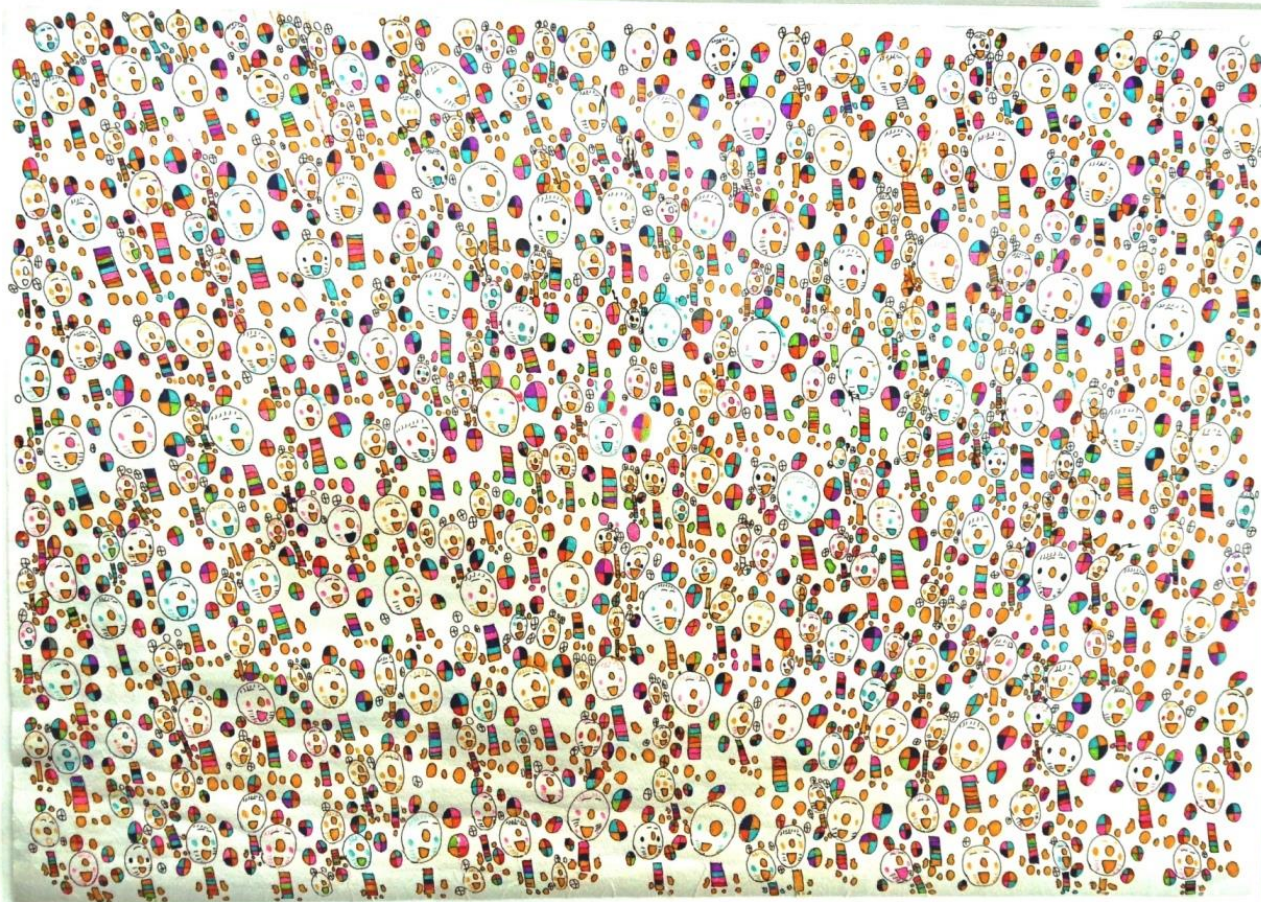
作品名： 「茶太郎」

作家名： 田中 悠紀（たなか ゆき）

（社会福祉法人みぬま福祉会所属）

「茶太郎」は犬の名前であり、作家はこの犬を15年にわたり、ひたすら描き続けている。

2012年には人気ファッションブランドの「BEAMS」とコラボレーションし、「茶太郎」の作品群のうち1枚をプリントしたボタンドウンシャツが販売された。



作品名：「Untitled」

作家名： 鶴岡 一義（つるおか かずよし）

（社会福祉法人みぬま福祉会所属）

「美しい色の響き合いと、不思議な形に目を奪われる」立体造形



浦和ロイヤルパインズホテル（ソラーレ ホテルズ アンド リゾート）

埼玉の県都・浦和を代表するハイクオリティな高層ホテル。ゆったりとした落ち着いた雰囲気客室や、多彩な宴会場、和洋中8つのレストランで皆さまをお迎えいたします。美しい眺望と美食が彩るワンランク上のホテルステイをご堪能ください。

所在地： 埼玉県さいたま市浦和区仲町 2-5-1

電話番号： (048)827-1111（代表）

開業日： 1999年（平成11年）10月7日

主要施設： 客室196室、レストラン&バー8店舗、宴会場13室、
チャペル、神殿、写真室、美粧室、衣裳室、駐車場、他

アクセス： JR「浦和駅」西口より徒歩7分。

アトレ北口 Suica (PASMO) 専用改札口より徒歩5分



この報道資料に関するお問合せは:

浦和ロイヤルパインズホテル

企画室 村上・番場・高木

e-mail m-murakami@royalpines.co.jp

TEL.(048)827-1181[直]/ FAX(048)827-1115

お客さまからのお問合せは:

浦和ロイヤルパインズホテル

TEL.(048)827-1111(代表)

<http://www.royalpines.co.jp>